

## にしとべの丘

令和4年12月号

2022年12月1日

横浜市立西中学校

はってん か さき  
発展した ICT化の先にこうちょう いしかわ ひろし  
校長 石川 博

はや師走。改めてこの1年を振り返ってみるといろいろなことがありました。規模を縮小したとはいえ体育祭や文化祭ステージ部門が開催されたのは大きな喜びでした。修学旅行や自然教室も実施できました。何よりもマスクと消毒と換気はあるものの、休校やオンライン授業がなく、コロナ禍以前の日常が取り戻せつつあることに感謝です。

さて、コロナ禍で本校のICT化も進み、昨年の春、私が赴任した時とは全く違う授業風景となっています。教室での授業のほとんどは板書事項や資料が大型スクリーンに投影され、生徒はChromebookを開いて授業を受けています。ChromebookやiPadは西中だけでなく、日本中の学校で、頻度はともかく、使用されています。この2年くらいで日本中の授業が急速に様変わりしたのではないかと思います。

ICT化が進み、それを上手に利用することは「効率のよい」授業と「効率のよい」学びができます。しかし、それだけではなくICT化が進むと管理者にとって非常に都合の良いものではないかと考えてしまいます。それは教師も管理者の一人ですが、もっと規模の大きなもの話です。教育委員会では、A中学校はB中学校よりもログイン時間が多い。つまりA中学校はICTをよく活用している、C中学校のIDがXYZ01234の生徒は△△というものを調べる傾向がみられる、とか。実際にGAF Aのような巨大IT産業はビッグデータを持ち、その人その指向に合った情報を提供しています。Amazonで買い物をした人は「あなたへのおすすめ」のような情報が提供されることは御存じのことと思います。ネットでの検索や広告も同じで、どんなものの検索が多いかでその人物の指向をとらえ「効率よく」提示します。このようになっていくと、個人の行動が見透かされているようでちょっと怖いです。ビッグデータの目的の一つが「予測」です。「効率よく」情報提供をしてビジネスにつなげる。そしてその情報もまた商品価値を持ちデータとして使われる。AIがもっと普及すれば、これももっと「効率よく」なることでしょう。

日本の気象予報があたる確率は80%を超えているそうです。これも過去の気象条件や気球規模の気象のビッグデータをもとにしています。しかし、AIが普及しつつある現代でも最終的に判断するのは気象予報士だそうです。どんなにICT化が進んでも最終的には人の良心に基づいた感性を働かせた判断を大切にしていきたいです。

今年1年、御協力や御支援をいただきましてありがとうございました。皆様にとって来年もよい年でありますことをお祈り申し上げます。



西中屋上から見える景色

# 12月は、いじめ防止啓発月間!!

生徒指導専任

横浜市では「横浜市いじめ防止基本方針」のもと、12月を「いじめ防止啓発月間」としています。本校でも「いじめ防止メッセージ」をはじめ、生活委員会による活動(いじめ防止劇)等がいじめの未然防止を全校生徒に伝え、個人面談やアンケート等で一人ひとりの声を聞き取る等を計画しています。

また、新聞やテレビ等で学校でのいじめが報道されるたび心が痛みます。西中学校の子どもたちが明るく豊かに安心して過ごすことができる学校づくりを「いじめは絶対に許さない」という気持ちで教職員一丸となって取り組んで参りたいと思います。

今後ともご協力をお願いします。

## <本校の取組>

- ◆いじめ防止メッセージ等配布
- ◆生活委員会によるいじめ防止劇(校内放送)、ポスター等
- ◆いじめ防止アンケート実施、相談活動

## <横浜市の取組>

- ◆のぼり旗やいじめ防止ポスターの掲示(本校でも実施)
- ◆地下鉄での啓発…車両中吊り広告掲載
- ◆いじめ防止市民フォーラム…令和4年12月6日(火)

開催日時 13:00~15:30 市役所 1階 アトリウム

テーマ 「オール横浜でつながり、広げる、いじめの未然防止の輪」

~いじめをなくすために、私ができること~

◎今回、西中学校ブロックとして3年生代表生徒が取組を発表します。



## 個別級合同遠足 (新横浜ラポール)

11月10日(木)、西区中学校個別支援級の合同遠足

で、港北区にある「新横浜ラポール」に行ってきました。

施設内の体育館で「ゴロ卓球」「ボウリング」「的当て」

「サッカー」「サーキット」の5種目を行いました。班員と

協力しながら「ゆるスポーツ」を楽しむことができました。







# 西中コラム「食で学ぶ 食を学ぶ」12月号

元横浜市教育委員 長島 由佳

師走が近づいた11月28日の昼時、西中にてPTA2年学年学級委員会主催の「給食試食会」が開催されました。教育委員会健康教育・食育課の中学校給食担当係長に「横浜の給食」に関してお話ししていただいた後に、2016年より西中と食育コラムや講座で関わっている者として「西中の食～中学校給食と育むものの役割～」を15分程度でお話させていただきました。その後、12名の参加保護者とともに麻婆豆腐や揚げ餃子・わかめの和物などのメニューを試食しながら、短い時間の中でしたが「給食とお弁当」についての理解を深めていただきました。



私が伝えたいことをいくつか記します。

- 中学生や高校生対象にQ:「食」で大切なことは?と投げかけると、A:栄養・ビタミン・地産地消・弁当・免疫力・バランスなどなど、小学校で学んだ「食」の知識や体験(授業・給食時のパクパク便りなど)や様々な関わりが良い学びとなっているため、中学校給食でも同様に個々の将来のためになっている
- 集団で食す時に経験できる、他者との様々な違いから学ぶ多様な考えや嗜好。それは給食においても、家庭弁当でも、学べることはそれぞれある
- 「食」を創出するとき、食する相手によって作り手が相手を思う心による工夫や演出ができる
- 「食」に密接関わる器にも思い入れがある
- 思いを重ね、つなげていけばいずれその思いは通じ、何らかの形になる
- アレルギーや宗教・国の違いによる除去食を知ることで相手を思う心が育つ
- 「食」の作り手は、見えていても見えていなくても食する人のことを想像し関わっていることを知ってほしい

最後に、様々な教科の中には「食」につながるものが散りばめられており、学びのひとつ一つに無駄な事などないことを下記図で紹介しました。それぞれの学びがどの様に「食」と関わっているのか、ご家族で想像し、ダイニングでの話題にしていいただければ幸いです。

## 学びと「食」の円図



中学校給食試食会の様子